



戦国時代の葦山城を デジタルで再現

令和8年度に開館する文化財展示施設「伊豆の国歴史館いずしる」。第4弾となる今回の展示内容の紹介では、戦国時代について取り上げます。

「城」と聞くと、立派な天守閣や石垣を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、伊豆の国市には、北条五代の祖、伊勢宗瑞(北条早雲)が築き、約100年続いた「葦山城」があります。葦山城は戦国時代を代表する有名な城ですが、天守閣も石垣もありません。しかし、そこには戦国時代の息吹を伝える土塁や堀が良好な状態で残っています。発掘調査では、堀や道路、人々が暮らした屋敷の跡などが目撃され、古文書や古絵図とあわせて、当時の葦山城の構造や合戦の様子が明らかになっています。

伊豆の国歴史館いずしるの戦国時代コーナーでは、葦山城築城から廃

城までの約100年間の移り変わりをプロジェクトチームが再現し、城で働く人々や合戦の様子を動きのある演出で表現します。

現在、葦山城跡は、木々に覆われた山や学校、公園、住宅地など生活の場となっていますが、戦国時代の痕跡は多く残されています。葦山城跡を散策する際には、かつてこの地が、数々の合戦の舞台であったことを想像してみてください。また、この時期、本城の本丸からは戦国時代と変わらない、美しい富士山を眺めることができます。

葦山城跡は、その価値が評価され、豊臣軍の付城跡を含め、令和7年9月18日に「葦山城跡付城跡」として国史跡に指定されました。



▲西から見た葦山城跡

文化財課
055(948)1428



第44回 上岡 久子さん

第20回パン祖のパン祭
昭和100年記念シニアパンコンテスト
最優秀賞

「幸せの輪」を 広げるパン作り

第20回パン祖のパン祭の特別企画として行われた、昭和100年記念シニアパンコンテストで最優秀賞に選ばれた上岡久子さん。上岡さんとパン作りの出会いは、看護師の仕事をしている上岡さんのお子さんを育てていた多忙な日々にかかっています。きっかけは「育ち盛りの子どものお腹を、手作りのものでいっぱい満たしてあげたい」という母心。知り合いに誘われてパン作りの講座に参加したところ、「やってみると予想以上に楽しくて。子どもたちにも『おいしい』と好評でした」。以来、パン作りに夢中になった上岡さん。

その腕はぐんぐん上達し、家族だけでなく、お子さんの部活仲間や保護者、職場や知人にもお裾分けの輪を広げ、みんなを笑顔にしてみました。

そんな中、広報紙でコンテスト実施の記事を目にした上岡さん。「日頃、子どもたちに『何事にも挑戦を』と言っている以上、自分自身も新たな一歩を踏み出そうと、腕試しのつもりで応募しました」。

上岡さんの作品『落ち葉ブレッド』は、応募時期の11月に合わせた紅葉をコンセプトに制作。「スーパードライの材料で、家庭で再現できる味」にこだわり、水温管理を徹底してふんわりとした食感を実現。葉脈の模様も表現して落ち葉らしく焼き上げ、見事、最優秀賞に輝きました。

受賞を誰より喜んでくれたのは、長年、上岡さんのパンを食べてきた家族。「こんなにおいしいんだから、選ばれると信じていたよ」。その言葉が何よりの宝物になったと言います。「これからも、食べた人を笑顔にするパン作りを続けて『幸せの輪』を広げていきたいです」。

腕試しで踏み出した一歩が大きな結果につながった上岡さんのように、皆さんも自分を輝かせるチャレンジ、始めてみませんか。



▲図書館HP

開館時間(共通) 9時～17時30分
中央図書館 ☎0558-76-5566
葦山図書館 ☎055-949-8605

図書館だよ

「おはなし会スタンプカード」 始めました

中央図書館、葦山図書館、くぬぎ会館のおはなし会に参加してスタンプを集めてください。スタンプの数により、金・銀・銅メダルがもらえます。目指せ、金メダル!

2月のおはなし会

中央図書館 14日(土)11時～
葦山図書館 28日(土)11時～
くぬぎ会館こども広場
19日(木)10時10分～
※事前申込不要



休館日も
利用できる
電子図書館

今月のおすすめ

一般 [中央]

子供部屋同盟
高橋弘希/著
東洋経済新報社

パワハラ、詐欺、痴漢冤罪、万引き。社会から疎外された「子供部屋おじさん」たちが、特異なスキルを武器に、裁かれぬ悪を人知れず断罪する。痛快、世直しエンタメ。

一般 [葦山]

しっぽのカルテ
村山由佳/著
集英社

信州の美しい木立に佇むエルザ動物クリニック。瀕死の野良猫、高齢犬、インコ。スタッフは日々運び込まれる動物たちの治療を懸命に続ける。感涙の動物病院ストーリー。

2月の休館日
中央図書館：毎週月曜日、24日(火)、27日(金)
葦山図書館：毎週水曜日、12日(木)、27日(金)

ごみの分け方 出し方



「プラスチック容器」と 「その他のプラスチック類」の違い①

市では、プラスチックを「プラスチック容器(プラスチック容器の日に回収)」と「その他のプラスチック類(カンの日に回収)」への分別をお願いしています。今回は、「プラスチック容器」のごみの中で、間違っても分別されやすいものを紹介します。

「プラスチック容器」のごみのうち 間違っても分別されやすいもの

○容器に使用されているプラスチック

硬そうに見えるため、「その他のプラスチック類」として排出されることがありますが、「プラスチック容器リサイクルマーク」がある場合は、洗って乾かして、「プラスチック容器」として捨ててください。



▲このマークが目印

○ペットボトルのキャップや洗剤などのフタ

洗って乾かして、「プラスチック容器」として捨ててください。

廃棄物対策課 ☎0558(76)8001